

# ざっそう

NO. 7/2026 (通算821号)

2026・5月号

建交労 関西合同支部

e-mail kgs8815@yahoo.co.jp

TEL 075-205-0421

FAX 075-203-8405 部内資料

## 労働者の祭典第97回メーデー開催!

**「戦争反対、大幅賃上げを！」支部全体で28人参加!!**

5月1日、第97回メーデーが開催され、支部からも愛知ブロック1名、京都ブロック（書記局含む）7名、京都北部1名、大阪ブロック5名、南大阪ブロック8名、福岡ブロック6名の28名が参加し「賃上げ、改悪反対」など訴えました。

### 全京都統一 メーデー

5月1日、「第97回全京都統一メーデー大会」が京都市中京区の二条城前広場で開催されました。

会場には京都府内の各労組から約4,000人が詰めかけ、建交労京都府本部から31人、支部からも7人が参加しました。

集会では、「米国とイスラエルによるイラン攻撃は、私たちの暮らしと仕事を直撃する。今すぐ戦争をやめろと声を上げよう・物価上昇を追い越す大幅な賃上げを実現しよう」と訴えました。集会終了後、参加者は市内3コースに分かれてデモ行進に出発。建交労のメンバーは東本願寺へ向かう南コースを進み、「大幅賃上げで景気回復を!」「戦争反対!」と、沿道の市民に力強くアピールしました。



### 福知山統一 メーデー

5月1日、福知山駅北口において第97回福知山統一メーデーが行われ、福知山の各労組から80人、福知山分会からは業務のため1人の参加となりましたが「大幅賃上げ!戦争反対!!」を訴えてきました。



## 高槻・島本地域 メーデー

大阪分会では、5月1日に第97回高槻・島本地域メーデーに5名が参加しました。当日は雨もようになりましたが城跡公園に150人以上の方が集まり集会を行い、高槻市役所までに行進を行いました。



## 堺メーデー

5月1日、第97回堺メーデーが行われ、南大阪ブロックから8名が参加しました。今年は始めは小雨が降っていましたが集会が始まると雨も止みましたが大仙公園にはたくさんの方が戦争反対、憲法9条守ろう、賃金UPなどを訴えました。デモ行進では大仙公園から堺市役所までの道のりをシュプレヒコールを上げ行進を行いました。

## 愛知県 中央メーデー

尾張分会は5月1日、ヒサヤオオドリパーク（名古屋市中区）で開かれた「第97回愛知県中央メーデー」に参加しました。あいにくの天候でしたが、会場には愛労連傘下の労働組合からおよそ800名が集い、建交労愛知県本部からもトラックや学童保育の仲間など多数参加しました。リレートークでは、トラック部会のメンバーが元気よく発言し、メーデー宣言を採択して終了しました。デモ行進は、雨で中止となりました。



## 福岡 メーデー

5月1日、福岡地区メーデーが天神警固公園にて開催されました。

はじめの挨拶では、メーデー実行委員長から「団結を深め、平和で広がる未来を切り開いていこう」を掛け声に、各団体参加者からも力強い発言がありました。集会終了後は天神の街中を宣伝カー4台と参加者全員で約30分のパレードを行いました。メーデー参加者は全体で40団体の400名の参加で、福岡協議会からは6名の参加で取り組みました。



火災や台風、地震の脅威から

あなたの暮らしを守る備えに

—— 全労連共済の ——

**おうちの安心共済**

—— という選択 ——



見積りで

**QUOカード**

1,000円分進呈!

見積り依頼は

右のQRコードから  
または組合役員まで

見積り依頼



もうけを目的としない共済だから、家計に優しい掛金

生命共済

医療共済

交通災害共済

自動車共済

自転車共済

ONE-CO 共済

ホームページ



京滋労働組合共済会

当面の日程<2026年>

5月24日 第2回支部委員会 (京都高齢者会館)

5月25日 京都府本部常任執行委員会 (京都高齢者会館)

5月26日 書記局会議 (支部書記局)

5月27日 京都トラック協会桂川PA清掃

6月3日 京都府本部執行委員会 (京都高齢者会館)

6月4日 関西急送執行委員会

6月8日 京都府本部ハローワーク前宣伝

# 大阪ブロック・南大阪ブロック共同 憲法宣伝実施！！

今から80年近く前、日本は国を挙げて戦争に突き進んだ末に、主要都市は焼かれ、各地で飢えや物資の不足が人々の暮らしを追い詰めました。あの凄惨な経験から私たちが学んだのは、一度始まった戦争を止めることの難しさと、国家の暴走が国民にもたらす残酷な結末です。今の憲法は、その歴史への深い反省から、二度と過ちを繰り返さないための「不戦の誓い」として誕生しました。しかし今日、その平和の土台が揺らいでいます。高市政権が進める軍備の増大は、周辺国との対立を深め、結果として日本を戦争の危機へと近づけています。力による抑止を優先する姿勢は、平和を築くどころか、一步間違えれば「戦争へまっしぐら」の道に繋がりがかねません。その危機を食い止めてきた象徴的な例が、中東のホルムズ海峡をめぐる問題です。米国などから協力や派遣を求められた際も、日本が戦闘に巻き込まれる直接の軍隊派遣をせずに済んできたのは、憲法九条という明確な「歯止め」があったからです。憲法が盾となり、他国の戦争に引きずり込まれることを防いできたという事実は、決して無視できません。

特に注視すべきは、憲法に「緊急事態条項」を新設しようとする動きです。これは、有事や災害を理由に、政府が国会のチェックを排して国民に命令を下せる権限を与えるものです。一見、効率的な危機管理に見えますが、その実態は「政府への白紙委任」に他なりません。過去の歴史においても、こうした緊急時の特別権限こそが、民主主義を壊し、独裁と戦争への呼び水となってきました。

憲法とは、国民が守るべき規則ではなく、強大な力を持つ政府を縛り、私たちの自由を保障するためのものです。この国の進むべき道を最後に決める「主権者」は、天皇でも政府でもなく、私たち国民一人ひとりです。国が歩もうとしている道が、本当に私たちの望む未来なのか。それを見極める最終的な責任は、私たちにあります。「国を守る」という大義名分が、私たちの自由や平和を飲み込んでしまわないように。私たちは主権者としての責任を胸に、平和を支える憲法の真価を今一度、問い直さなければなりません。

5月3日の憲法記念日に合わせ、関西合同支部の大阪ブロック、南大阪ブロック合同で、憲法宣伝行動を高槻駅にて行いました。この日、高槻駅周辺では、高槻JAZZストリートという音楽フェスが行われており、駅前や商店街周辺にてJAZZの演奏が行われ大変な賑わいでした。その中で憲法の役割や現在の社会情勢との関わりについて訴え、ティッシュ配布を行い1300個配る事が出来ました。地域の方や、JAZZフェスで高槻に訪れている皆さんに、平和主義や基本的人権の尊重といった憲法の基本原則が、私たちの暮らしにどのように生かされているのか、今こそ一人ひとりが憲法の意義について考え声を上げていくことが重要です。私たちは、憲法の理念を守り、平和な社会を次の世代へ引き継ぐ為に、これからも、平和の行動に取り組んでいきます。



QRコード



HomePage

関西合同支部



スマホやタブレットで読み込んで下さい。  
支部ホームページに簡単に入れます。

組合員専用ページパスワード  
「oideyasu」 (おいでやす)

